

報道機関 各位

熊本大学

熊本大学大学院 生命科学研究部 代謝内科学分野 荒木栄一教授が  
平成 29 年度日本医師会医学賞を受賞

熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科学分野 荒木栄一教授が、平成29年度日本医師会医学賞を受賞しました。

日本医師会医学賞は、日本医師会会員で、基礎医学・社会医学・臨床医学の各分野において、医学上重要な業績をあげたものに、年1回、3名に授与されます。

受賞された研究題目は「糖尿病病態の分子生物学的解析と新規糖尿病治療法開発への応用」です。荒木教授は糖尿病の成因や病態の分子生物学的解析に世界に先駆けて取り組み、インスリン受容体やその主要基質であるIRS-1の機能および発現調節機構の解明に成功しました。さらにIRS-1遺伝子多型がインスリン抵抗性に関与する事を見出しました。また、ミトコンドリア由来活性酸素を介した酸化ストレスがインスリン抵抗性やインスリン分泌障害を惹起することを見出し、糖尿病の病態における糖毒性の発症機序の一部を示しました。一方、ストレスにより誘導される分子シャペロンHSP72が、温熱と微弱パルス状電流の併用によって効率的に発現誘導され、インスリン抵抗性やインスリン分泌障害を改善しうる事を細胞や糖尿病モデル動物において証明しました。

さらに荒木教授の特筆すべき所は、温熱と微弱パルス状電流の併用療法を臨床に応用し、メタボリックシンドローム該当者や肥満2型糖尿病患者において病態の改善効果を有することを証明するなど、研究成果を新規糖尿病治療法開発に結びつけた点です。

これらの業績は世界的に高く評価され、今回の受賞につながりました。

受賞式、受賞講演は、平成29年11月1日、東京の日本医師会館大講堂で開催されます。日本医師会設立記念医学大会において行われます。



荒木 栄一 教授

**【お問い合わせ先】**

熊本大学大学院生命科学研究部代謝内科

担当：瀬ノ口

電話：096-373-5169

e-mail：ts2281@kumamoto-u.ac.jp